

RS
SILVER

F★★★★
ホルムアルデヒド登録認定商品

優れた耐候性と超低汚染性を発揮し
外壁を長期にわたり保護します。

RS

シルバーマイルドSi

弱溶剤2液形シリコン樹脂塗料

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

RSシルバーマイルドSi

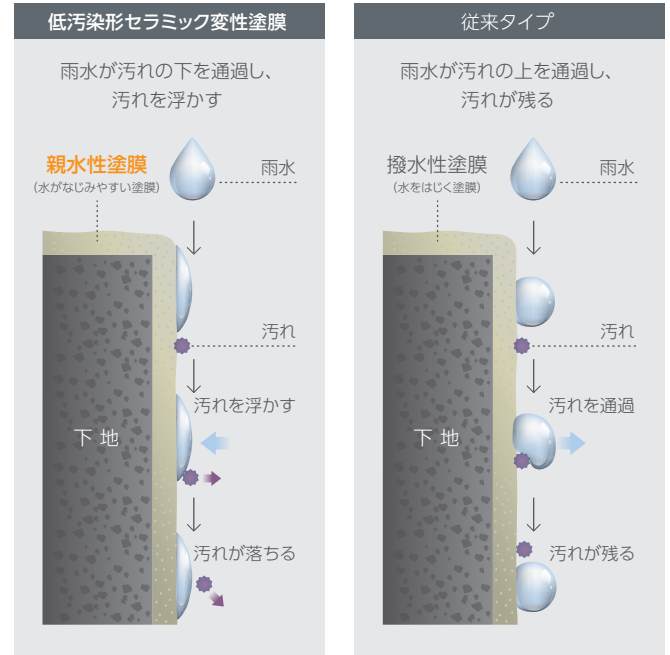
1 低汚染性

優れた低汚染性で美観を長期にわたり維持します。

屋外バクロ試験結果(一年半バクロ 当社比)

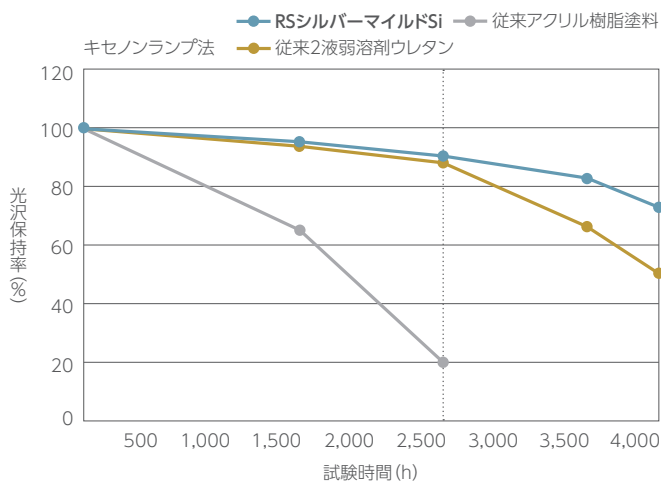


低汚染のメカニズム



2 高耐候性

塗膜は劣化とともに、艶(光沢)が低下していきます。艶の低下速度がゆるやかな程、塗膜の耐候性が高いことを表します。



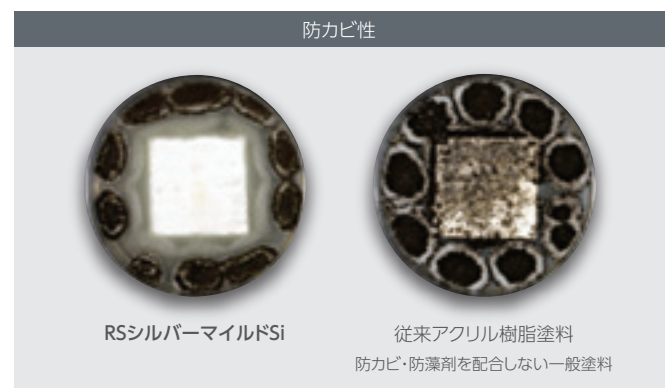
※JIS-A-6909耐候形1種(キセノンランプ法2,500時間、光沢保持率80%以上)合格レベルの性能を有しています。耐候形1種は、一般的に10~15年の耐久性に相当します。

4 抜群の仕上り性

肉厚感のある塗膜が優雅な美しさを演出します。

3 防カビ・防藻性

防カビ・防藻性に優れています。





■ 塗料性状

	上 塗	中 塗
荷 姿	16kgセット(ベース/硬化剤=13.7kg/2.3kg)	16kgセット(ベース/硬化剤=14.5kg/1.5kg)
混合比	ベース/硬化剤 = 6 / 1	ベース/硬化剤 = 10 / 1
色	白および各色	白および各色
艶	艶あり、7分艶、5分艶、3分艶	艶あり
仕上り感	平 滑	平 滑
塗料比重	1.18(白)	1.21(白)
溶剤比重	0.84	0.82
加熱残分	58%(白)	64%(白)
劇物表示(品名・含有量)	—	—
労安法上の表示有害物	ベース:キシレン、エチルベンゼン 硬化剤:キシレン	ベース:キシレン、エチルベンゼン 硬化剤:キシレン
有機則/特化則	ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第3種有機溶剤等	ベース:第3種有機溶剤等 硬化剤:第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	ベース:第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性)	ベース:第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤:第4類 第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分による区分	イソシアネート	イソシアネート

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

	上 塗			中 塗			
塗装方法	ハ ケ	ローラー	エアレス スプレー	ハ ケ	ローラー	スプレー	エアレス スプレー
希釈率	0～10%		5～10%	5～15%		10～30%	
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12		0.14	0.12		0.14	
希釈剤	塗料用シンナーA			塗料用シンナーA			

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

		上 塗	中 塗	
項 目	温 度	23℃	23℃	5～10℃
標準塗装間隔	最 短	4時間	4時間	16時間
	最 長	7日	7日	7日
使用時間		8時間	8時間	10時間

下塗塗料 下地に合った下塗塗料を選ぶことも重要なポイントです。

RSサーフ 水性

ダブルマイクロ技法により、キメ細かい滑らかな肌を実現します。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSファイラー 水性

これまでに培った技術力を結集した長期耐久性弾性下地調整材。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル

RSプライマー 水性

水性で臭気も少なく、幅広い旧塗膜・基材へオールマイティーに対応します。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSマルチシーラー 溶剤

紫外線をブロックしあらゆる素材へ優れた付着性を発揮。
光触媒サイディングなどに最適な下塗材です。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

【主な素材適正】フッ素塗装面・光触媒塗装面・無機塗装面

RSバリア 溶剤

優れた防食性、幅広い下地適正を有した、
鉛化合物など有害物質を含まないオールマイティープライマー。

【主な適用素材】亜鉛メッキ・アルミ・ステンレス・コンクリート



汚れについて

- ①カビ、藻、シーリング材のじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。
②塗装後3日～1週間から落ちはじめ、その間に付着した汚れも徐々に除去されます。但し建物の構造上、本来の低汚染性能が十分に発現しない場合があります。雨掛かりの少ない被塗面や、汚れが大量に流

- れ落ちる被塗面では、十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承お願い致します。
③足場解体時など、部分補修する際には、汚染ムラの発生原因となりますので、硬化剤の入れ忘れ、不足などに十分注意してください。

施工上の注意事項

- ①塗装仕様に記載の塗り重ね乾燥時間は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗り重ね乾燥時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。
②気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
③黄・赤・青・緑系の芽えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるために中塗を共色で塗装してから仕上げることをお奨めします。
④希釈には必ず「塗料用シンナー-A」を使用してください。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解等が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜面を塗り替える場合、チヂミが発生することがありますので、事前に確認してください。
⑤本品を溶剤適性の無い旧塗膜に塗装した場合、膨れや縮れなどの塗膜欠陥を起こす可能性がありますので、試験施工するなどして事前にご確認ください。
⑥ペースと硬化剤を規定の割合で混合後、「塗料用シンナー-A」を加えて充分攪拌し、適切な粘度に調整してから塗装してください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるため、仕上り不良の原因ともなりますので、ご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。
⑦被塗面に油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってか

- ら塗装してください。
⑧艶調整(5分艶・3分艶)仕上げの場合、塗装方法の変動、塗付量のバラツキ等により、艶ムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。
⑨異なる色を塗り重ねる場合も、ニジミ防止のため、塗り重ね乾燥時間を1日以上確保してください。
⑩塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
⑪ペース、硬化剤は湿気の影響を受けやすいので、必ず密閉して冷暗所に保管してください。又、ペースと硬化剤を混合したものは、8時間以内(23℃)に使い切ってください。
⑫汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
⑬濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。
⑭シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、フレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シーブラ」又は「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
⑮蓄熱しやすい素材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど)等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
保管：指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
廃棄：本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
施工後の安全：本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。